

山寺通信 2024. 7月号

現在、中国のアリババ系のEコマース（ネットショッピング）が世界を席捲しています。従来は、製品を中国の工場から日本の消費者に直接送っていたので運賃や時間がかかり多少無理をしていましたが、現在日本の倉庫にストックして配送するようになっていたので中国で流通する安い価格で売られるようになってきました。日本の業者が太刀打ちできない価格になります。さらにネットの翻訳が充実しているので買いやすくなっています。当社は、中国にいるスタッフにアリババ系列の「タオバオ」に掲載するように依頼しましたが、あまり売れませんでした。その後、上流階級者向けに「東家」と言うサイトを開くので、料金無料で参加してほしいと招待されました。3か月間程毎日のように注文が入りました。当社の中国人のスタッフがネットに製品写真を掲載します。後は客が前払いで注文し、製品を当社が送るシンプルな仕組みでした。サイト側からの連絡はほとんどなく、高額な急須の注文が多かったです。現在は、ほとんど注文がきていません。中国の歴史的な手造り銘品とか日本の銘品を広げるような会社でしたが、最近では中国人も飽きたのか中国「茶壺」が復活しています。又アマゾンなど大手ECサイトと競争するには、少し趣味的な製品を前面に出して顧客を取り込むことが良いと思います。大手の場合は趣味的な思考より効率的な陳列になります。商品説明も解説まで少し掘り下げたものが重要です。

新製品紹介

お茶を1年中飲む製品にするには、水筒は必要だと思います。前回一度水筒を掲載しましたが、食品検査が遅れてしまいました。前は初めてだったので樹脂製パッキンで20種類の検査をしました。今回は、製品は7月末に入荷予定です。この「木目ポット」もキャリティーボトルのように年間商品と考えています。

木目模様がうれしい
3色の色があります
黒 白 水色
内部304ステンレス



Metal, stainless steel



18cm
径 6.5cm



本体 350CC

カップ蓋

ステンレス網 シールリンク45mm



バッグに入る大きさ
外出先でさりげなく水分補給
細かいステンレス茶漉し付き
夏は水、冬はお湯で茶を入れる
本物のお茶がいつも側にある